

令和4年7月吉日

関係者各位

函館市医療・介護連携支援センター
センター長 岡和田 敦

「令和4年度 函館市医療・介護連携多職種研修会」

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、函館市医療・介護連携支援センターでは、函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会の協力のもと、多職種間での「相互理解」というテーマで、医療関係者には介護側の事情を、介護関係者には医療側の事情を知っていただく機会として、当センターのホームページで研修動画を公開する事となりました。

貴事業所職員の皆様におかれましても、ぜひお誘い合わせのうえ閲覧していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

『令和4年度 函館市医療・介護連携多職種研修会』
医療関係者向け研修会（動画公開）

- 【日 時】 令和4年7月11日（月）14時 ～ 7月31日（日）公開
*お申し込みいただいた医療機関（部署）及び事業所に、パスワードをお知らせいたします。
- 【場 所】 函館市医療・介護連携支援センター ホームページ
*閲覧を制限している為、申し込みをいただいた医療機関（部署）及び事業所にのみ、閲覧の為のパスワードをお知らせいたします。
パスワードや動画は無断転用禁止ですので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。
- 【対 象】 函館市内の医療・介護関係者
教育機関
*医療関係者向け研修となっておりますが、介護関係者も申込可能です。
- 【内 容】 テーマ：30分でわかる福祉用具の「あれこれ！」
講 師：株式会社 ひより屋
福祉用具専門相談員 角田 真一 様
- 【申込方法】 申込は各所属事業所・機関よりお願いいたします。
*参加申込書にご記入のうえ、令和4年7月25日（月）までにご連絡をお願いいたします。

[お問い合わせ先]

函館市医療・介護連携支援センター（函館市医師会病院内） 担当：眞嶋、近藤
電話：43-3939 FAX：43-1199 E-mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

令和4年度 函館市医療・介護連携多職種研修会(医療関係者向け研修)
アンケート集計結果 分析

n=188 (回収率 75.2%)

1. 所属機関をお聞かせください。(複数回答可)

| | | |
|-------|-----|---------|
| ・医療機関 | 63 | (33.5%) |
| ・介護機関 | 113 | (60.1%) |
| ・教育機関 | 2 | (1.1%) |
| ・その他 | 10 | (5.3%) |

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。(複数回答可)

| | | |
|-------------|----|---------|
| ・医師 | 0 | (0.0%) |
| ・歯科医師 | 0 | (0.0%) |
| ・薬剤師 | 41 | (14.3%) |
| ・保健師 | 7 | (2.4%) |
| ・看護師 | 28 | (9.8%) |
| ・ケアマネジャー | 86 | (30.0%) |
| ・相談員 | 13 | (4.5%) |
| ・介護職員 | 40 | (13.9%) |
| ・歯科衛生士 | 2 | (0.7%) |
| ・栄養士 | 0 | (0.0%) |
| ・リハビリスタッフ | 32 | (11.1%) |
| ・柔道整復師 | 0 | (0.0%) |
| ・マッサージ師・鍼灸師 | 7 | (2.4%) |
| ・福祉用具関連 | 6 | (2.1%) |
| ・事務員 | 9 | (3.1%) |
| ・教員 | 1 | (0.3%) |
| ・学生 | 0 | (0.0%) |
| ・その他 | 15 | (5.2%) |

(救急救命士 9名・社会福祉士 6名)

3. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

| | | |
|-------------|-----|---------|
| ・深まった | 166 | (88.3%) |
| ・どちらともいえない | 11 | (5.9%) |
| ・あまり深まらなかった | 2 | (1.1%) |
| ・無回答 | 9 | (4.8%) |

【ご意見等】

- ・在宅介護では福祉用具レンタルが非常に有効で、福祉用具専門員に相談するのがよいと感じました。
- ・様々な工夫で住宅生活が可能になり、自分らしい生き方を「あきらめない」事ができるとわかりました。
- ・介護側なので普段から連携で行っている内容でしたが、確認として勉強させていただきました。
- ・退院支援では、病院などの医療職と連携し情報提供していただき在宅生活でどのようなサービスが利用しなければいけないのか、特に福祉用具貸与や住宅改修での環境整備は介護するご家族様の負担を軽減する事に繋がるので、退院前に整備できればと思いました。
- ・福祉用具の勉強会は珍しかったのでよかったです。
- ・一つの環境でも様々な考え方や用具の選択肢がありますので、なかなか30分に集約するのは難しい内容だったのではないかと思います。ますます福祉用具を知っていただけるように頑張りたいと思います。
- ・まずは、あきらめない姿勢が大切なことを再度理解した。
- ・福祉用具専門相談員によって様々な提案が考えられると感じました。同業者として知識を深めることができたため、今後はご利用者様が安心して生活できる環境整備を心がけて支援させていただきます。
- ・福祉用具の機種について理解が深まった。
- ・トイレ前でベスポジにつなぐ介助の際に、こんなにしっかりとした手すりがあることを知りませんでした。入院中の歩行器のデモ試用いいですね。活用させていただきます。
- ・動線が長い場合の対応方法など、ヒントを得る事ができました。
- ・入院中から関わっていただけなのは、不安を減らすことができてありがたい。
- ・介護器具の知識が少なくても見やすい動画でためになりました。患者さんから聞かれて答えられなかったことが、この動画を見て解決しました。
- ・退院時は特に、リハビリ職からの視点やアドバイス、福祉用具事業所からの視点やアドバイスがとても心強く助かります。
- ・普段介護用品のレンタルに携わることは少ないので、色々種類があることなどが勉強になりました。
- ・退院時の設置に携わることは難しいですが、在宅服薬管理時にお体の状況変化を聞き取り用品の変更などにアドバイスできるようになると感じました。
- ・福祉用具で在宅での介護生活がレベルアップされていると感じました。福祉用具を多くの方に知っていただくのが良いですね。

・正直、1人なのに自宅にいたいというお年寄りに対し「薬も飲み間違えたりして心配だし、早く施設に入ればいいのに」と思っていたのですが、今回の動画を拝見させていただき、お年寄りに寄り添って自宅にいられるようお手伝いをしていける方たちの話を聞き、もっとご自身のライフスタイルに合うお手伝いをしていけるよう私も努力しなければと考えを改めました。

・目に見える具体的な動画で角田さんの説明もとても解りやすくよかったですと思います。

・福祉用具の種類が多さや介護保険で借りられるものやできないものがとても解りやすい動画でした。また、ベッドを実際に組み立てる場面を見せていただき、組み立て時間等がとても勉強になりました。

・一般的なレンタル商品や住宅改修は理解していましたが、屋外のレンタル品を初めて拝見しました。住宅改修とあわせて、利用者様へ提案させていただきたいと思います。

・退院前に情報共有する事で在宅生活にスムーズの繋げられるよう、関わっていききたいと思います。

・介護保険で介護用の器具がレンタルできること、また住宅の改修工事が適用されることを初めて知った。

・可能であれば、利用されるお客様の実際の生活場面（生活状況や動線での動き）も合わせて拝聴したかった。

・停電時にギャッチアップが手動で直る機能や、新しい形状や機能の福祉用具を見ることができてよかったです。

・普段よく見かける福祉用具ばかりでしたが、使い方や適性などの説明を聞いた事はなかったので、具体的に知る事ができ勉強になりました。

・普段目にしていない物でも今後は違う目線で考える事ができそう。

・知らなかった福祉用具があったので勉強になりました。

・利用したことがない機種もみる事ができて良かったです。

・骨折した方が、在宅での生活を支援する福祉用具を一軒家の症例として紹介していただき分かりやすかったです。

・介護用品についての知識はほぼなかったので勉強になりました。

・福祉用具の入門編としては非常に良いかと思います。

・福祉用具を使うのに、結構な費用が掛かると考えていましたが、ベッドや車いすなどの負担が少なかったことに驚きました。

・外用の置き型手すりについて、新たに認識できました。

・電動ベッドの取り付け工程を初めて見る事が出来て勉強になりました。

・玄関の段差に手すりが斜めに付くなんてびっくりしました。介護ベッドが15分で組み立てられるのは知りませんでした。手すりも知っているようで知らなくて、勉強になりました。

・福祉用具専門員の方が用品選定や提案をしやすいよう、ことからも相談する際には対象者/ご家族の身体状態/生活+家屋状況のほかに好みの色や家の雰囲気などを伝えるとより対応しやすくなると思いました。双方が満足されるように今後は留意して依頼していきます。

- ・2階での生活は、階段の斜度を考えると難しいのではと思いました。
- ・福祉用具のことや、福祉用具のレンタルについての理解が深まって勉強になりました。
- ・入院中からレンタルのデモを対応していただけることを知らなかった為、在宅に戻るタイミングでようやく試すことができると思っていました。入院中から試してみる事で、利用者様自身も在宅で使うイメージが持てて安心だと思いました。

*多数同意あり、まとめて掲載しております。

4. 今回のような研修会を続けてほしいですか？

| | | |
|------------|-----|---------|
| ・続けてほしい | 169 | (89.9%) |
| ・どちらともいえない | 11 | (5.9%) |
| ・続けなくてもよい | 0 | (0.0%) |
| ・無回答 | 8 | (4.3%) |

【ご意見等】

- ・いつでも閲覧できるので助かります。
- ・患者さん向けなのかプロ向けなのか。事前に分かっていたらよかったです。
- ・このように在宅支援でとても参考になる資料は、研修だけではなくアーカイブとしていつでも見られる環境にしていただければ、とても助かります。
- ・番組形式で分かりやすかったです。掛け合いもよかったです。退屈する事なく視聴できました。
- ・他の福祉用具の種類や使用方法も知りたいです。
- ・動画研修はわかりやすく、時間に関係なく見る事ができるので続けていただきたいと思っています。よろしく願いいたします。
- ・自分の都合で空時間にじっくり見る事ができるので、動画式もよいと思います。
- ・設置の工程状況や福祉用具の種類、扱い方等を教えて頂きたいです。
- ・基本は変わらないと思うが、福祉用具の機能は進化しており参考にしたい。
- ・介護の視点に立った改善案がよかった。可能であれば介護を受ける要介護者の視点もあればなおよいと思った。店舗の配置換等の参考にさせていただきたい。
- ・様々な困りごとや迷った時の具体的な場面での動画があればうれしい。
- ・コロナ感染者が増えている状況なので、今後もオンラインでの研修があると参加しやすいので続けて欲しいです。
- ・動画研修が受けやすい。
- ・医療従事者だけではなく、介護用具を必要な患者さんのご家族などが見られればわかりやすいのではないかと思います。

*多数同意あり、まとめて掲載しております。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

- ・介護側からの意見になりますが、医療について勉強したいと思います。
- ・介護施設での看取りケアについて。
- ・今回の続編（中級編）や、難渋したケースなどがみたい。
- ・人権擁護について。
- ・災害時の連携などについて。
- ・訪問リハビリテーションについて学びたいです。実際に利用するまでの流れや、利用者宅でどのようなプログラムのリハビリが行われているかを知りたいです。
- ・初めて函館市の動画を拝見しました。多職種の専門的な動画を今後も続けて頂きたいと感じます。
- ・訪問介護について。
- ・訪問看護のサービスでできること、できないこと等周知できるような研修を開いてほしいです。（同居家族がいる家事援助など）
- ・おむつ交換や清拭や着替え、口腔ケアについて。
- ・その場で質問できるメリットもあるため、集合研修もたまにあるとよいと思います。
- ・自費サービスの種類（メリット・デメリット）認知症？と家族が感じた時で、本人に受診抵抗（拒否）がある場合のうまい誘導の仕方。
- ・初歩的なのですが、特養、サ高住など、様々な施設がありますが、一般的にどのような利用者さんが利用できるのか、どのような状況だと利用できないのかなど知りたいです。
- ・様々な種類の用具があるため、その方にあった福祉用具を教えてください。
- ・今回たいへん参考になりましたので、今後も退院して在宅に戻られる方の事例をあげて動画を配信していただきたいです。福祉用具だけでなくヘルパーを利用する内容やデイサービス、デイケアの利用の検討など、文章のものは多いですが、動画だとより分かりやすいと思いました。
- ・動画配信は、自分の時間で視聴できるので参加しやすい。
- ・動画でなくても、あらためて制度、手続きに関して。
- ・ケアマネジャーの心のケアなど。
- ・ご家族からよく依頼のある、退院後すぐに自宅でできるエクササイズや口腔体操、嚥下体操の紹介をリハビリ職種向けにしてもらいたい。
- ・誰が見ても解りやすい今回のようなものがあればよいと思います。
- ・寝たきりで拘縮があり、意思疎通が困難な利用者さんのベッドから車いすへの移動を安全に楽に行えるような福祉用具と使用方法についての研修会を行ってほしい。
- ・普段接する患者さんの服薬情報を度々目にするので、処方薬に関する知識を深めたいです。例えば、ニトロ舌下錠の処方を受けている場合、常備しているか、していればどこにあるかを事前に確認しておくなど、このお薬の処方をうけている場合はこれに注意という内容の勉強がしたいです。

- ・訪問看護の利用について。
- ・各職種の基本的な診療報酬や算定条件。各算定条件について、ある程度相互理解があれば、仕事の協力や分担がうまくいくのではないかと感じることもある。
- ・せっかく本物の家屋を使用するのであれば、退院時の想定（想像上の課題、想定される問題）より、今住んでいて実際にここが困っている、この動作ができない、などの問題に対する解決策を示した方が、具体性があって良いかと思いました。
- ・福祉用具全体的は内容だったので、個々の福祉用具についての詳しい内容が知りたい。
- ・入院～在宅調整まで一連の多職種連携の実例を学びたい。
- ・施設でのサービスについて知識を深めたい。
- ・今回のような分かりやすい内容で、訪問看護事業所などの連携・活動状況なども知りたいです。
- ・いろいろな感染症について。いろいろな検査項目について。
- ・私自身、親の介護が目前です。頑固で都合のよいように嘘をつく親です。離れているのでケアマネさんに話していますが。ケアマネさんのお仕事って本当はどこまでなのでしょう？本人と家族、サービスの調整だとは思いますが、いつか「本当は困ります！これは・・・（ケアマネ編）」とかやってほしい。
- ・病院同士で連携しているソフト？はどのようなものか知りたいです。病状や治療など詳しく知りたいのですがケアマネは書面や口頭でしかすることができない為もどかしい事があります。
- ・栄養学のお話が聞きたいです。

*多数同意あり、まとめて掲載しております。

6. 今回のような動画配信での講義はいかがでしたか？

| | | |
|------------|-----|-------|
| ・よかった | 178 | 94.7% |
| ・どちらともいえない | 3 | 1.6% |
| ・よくなかった | 0 | 0.0% |
| ・無回答 | 7 | 3.7% |

- ・研修時間がちょうどよかった。
- ・実際に住宅を使ってお示しいただき、わかりやすかったです。
- ・期間内であればいつでも見られるのがよい。各病院施設への案内書面は、動画公開よりも1週間～2週間前に連絡していただくと助かります。
- ・温かみのあるお話しでした。
- ・オンデマンドで見られてよかったです。
- ・2人のやり取りが分かりやすかったです。
- ・外の撮影だったため、雑音がありところどころ聞きにくかったです。
- ・動画配信での勉強会の方が、敷居が低くて参加しやすい。また、メモ等に集中して内容が疎かになったりせず、聞き逃した際には巻き戻しが可能なのも良い点だと感じました。

- ・集合研修には参加した事はありませんが、時間にとらわれずに勉強できる動画配信はありがたいです。
- ・ご本人、ご家族もこの動画を見ることができればと思います。
- ・函館市医療・介護連携支援センターHP（動画）を開くまでに時間がかかった。
- ・動画編集がすごく見やすく、そして内容も商品の紹介から実際の現場での活用方法の紹介もあり非常に分かりやすかった。
- ・実技での動画だったので、わかりやすかった。
- ・今後も動画配信よろしくをお願いします。
- ・自分の都合の良い時間で視聴できるのは良いと思いました。当院の問題かと思いますが、私の所に研修の案内が来たときには、すでに7月11日が過ぎていました。もう少し早いご案内だと助かります。我が家のパソコンの調子が今一つで、途中で動画が止まりましたが、最後まで見られました。
- ・具体的な事例を挙げ、とてもわかりやすい講座でした。ありがとうございます。
- ・コロナ禍がいまだに収まらない今こそ、ぜひ毎月やっていただきたい。動画はスムーズに進みました。

*多数同意あり、まとめて掲載しております。

7. 講師への質問がございましたら、お書き下さい。後日、ホームページにて回答いたします。

- ・マットレスや車いすがクッションなど汚れた場合、交換する時の代金はかかりますか？車いすに使用しているクッションが汚れた場合もこちらで洗わず、福祉用具屋さんへ連絡する方がよいのでしょうか？
- ・主なレンタル器具と費用（概算）一覧などございますか。
- ・住宅改修の前後を閲覧できるものはありますか。
- ・市営住宅のようなエレベーターのない集合住宅で車いすの生活になってしまった場合、どのような解決方法があるのでしょうか。
- ・15分でベッドを作れるのは福祉用具専門の方はすごいと思う。これは家族や介護職員ではかなり難しいことですか？不具合が出たら、頼まれてもお断りして福祉用具専門の方へお願いしてもよいですか。
- ・一時的な外泊時に例えば車いす等を借りたい場合は対応できますか？料金はどのようになるのでしょうか？
- ・介護施設に入居する前に、こういったものが要るか？
- ・親切丁寧な紹介をしていただいた「ひより屋」さん、今後何か機会があれば相談させて頂きたいと思います。
- ・分かりやすい説明ありがとうございます。
- ・質問ではないのですが、いつも迅速で丁寧な対応で助かっています。日頃お世話になっておりますので、よろしくお伝えください。

ご協力ありがとうございました。

第7回 函館市医療・介護連携多職種研修会

【函館オープンカンファレンス形式でのディスカッション】

「8050 問題の事例を通じ、多職種連携の必要性を考える」
～知ろう！気づこう！繋がろう！！～

日 時：令和4年9月10日（土）13：30～16：30

会 場：Web 開催（Zoom）

12：30 入室可能時間

13：30 開 会
挨拶

公益社団法人函館市医師会 会長 本間 哲

13：40 <<ディスカッション>>
(座 長)

医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院

副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生

(登壇者)

函館市地域包括支援センター ゆのかわ

保健師 京谷 佳子 様

居宅介護支援事業所 すず音

主任介護支援専門員 手塚 仁美 様

相談支援事業所 一条 相談支援専門員 長谷川隆明 様

デイサービスセンターももハウス（元デイサービスセンター百楽園）

介護主任 山本 弥 様

14：50 休 憩

15：00 <<個人ワークとディスカッション>>

*テーマ毎の個人ワーク後に、座長の進行で、

皆様を交えたディスカッションを行います。

16：15 <<総評>>

16：20 閉 会

挨拶

函館市医療・介護連携支援センター

センター長 岡和田 敦

16：25 <<アンケートご協力のお願ひ>>

16：30 終 了

別紙1 研修概要書

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名 称 | 第7回 函館市医療・介護連携多職種研修会 (ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター合同開催) |
| 目 的 | 8050 問題の事例を通じ、多職種連携の必要性を理解し、医療と介護と福祉の連携と協働を強化する |
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ・8050 問題の実際を知る ・8050 問題の事例から、多職種連携の必要性を理解する ・明日から自職種で何ができるかを考える事ができる |
| 共 催 | 函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会 (函館市医療・介護連携支援センター、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター) |
| 日 程 | 令和4年9月10日（土） 13：30～16：30 |
| 開催方法 | ハイブリッド開催 *会場及びWeb（Zoom を使用して開催します） 会場：函館国際ホテル（住所：函館市大手町5-10 電話：23-5151） |
| テ ー マ | 8050 問題の事例を通じ、多職種連携の必要性を考える ～知ろう！気づこう！繋がろう！！～ |
| 内 容 | <p>《函館オープンカンファレンス形式》</p> <p>(座長) 医療法人道南勤労者医療協会函館稜北病院 副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生</p> <p>(登壇者) 函館市地域包括支援センター ゆのかわ 京谷 佳子 様 居宅介護支援事業所 すず音 手塚 仁美 様 社会福祉法人 函館一条 長谷川 隆明 様 デイサービスセンター ももハウス 山本 弥 様</p> <p>(内容) 座長の進行により、座長と登壇者でディスカッションをしながら事例の理解を深め、参加者の皆様から意見を伺ったり、質疑応答をする予定です。</p> <p>(スケジュール) 13：30～開会あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッション：事例の共有 ・個人ワーク : 会場及びWeb 参加者 ・ディスカッション：発表～質疑応答 16：30～閉会あいさつ</p> |
| 参加対象 | 函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者 |
| 参加人数 | 会場 50～130 名程度（状況により参加定員を変更する場合がございます） Web100名（会場参集中止時はWeb200名） |
| 参加費用 | 無料 ※通信料は自己負担となります |
| 備 考 | アンケート実施 |

ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和4年4月～令和4年9月）

| 月 | 研修名称（団体名） | 件数 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 4月 | 第44回 函館五稜郭病院がんセンターボード（延期） 『専門チームからの取り組み報告』 『婦人科悪性腫瘍に対する妊孕性温存治療～不妊治療の保険適用開始を受けて～』 （函館五稜郭病院） | 2件 （延期1件） |
| | 七飯町成年後見制度利用促進事業 『市民後見セミナー～市民後見人とは？市民後見人に期待される役割について～』 （七飯町役場 民生部福祉課 地域包括支援係） | |
| 5月 | 第65回 北海道医療ソーシャルワーク学会 『ソーシャルワークに愛をこめて～すべての人に健康と福祉を～』 （北海道医療ソーシャルワーカー協会） | 1件 |
| 6月 | 第44回 函館五稜郭病院がんセンターボード 『専門チームからの取り組み報告』 『婦人科悪性腫瘍に対する妊孕性温存治療～不妊治療の保険適用開始を受けて～』 （函館五稜郭病院） | 1件 |
| 7月 | | 0件 |
| 8月 | 研修案内 『令和4年度「法人後見実施のための研修会」』 （函館市成年後見センター） | 2件 |
| | 第10回 全国ID-Link研究会 in函館 『医療インフラとしてのID-Link（医療情報共有システム）～患者ID全数登録に向けて～』 （特定非営利活動法人 道南地域医療連携協議会） | |
| 9月 | 令和4年度 厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業 『本人の意向を尊重した意思決定のための研修会 在宅医療・施設ケア従事者版 相談員研修会 生活の場、暮らしの場でのガイドラインの活用およびACPの実践』 （令和4年度「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」研修会事務局） | 2件 |
| | 2022年度 専門研修 『ソーシャルワーカーの物語を紡ごう～支援を通して当事者とかかわり、生活者として共に高めあう～』 （北海道精神保健福祉士協会） | |
| 合 計 | | 8件 |

（その他）

ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会 2件
 函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会 3件